

事業所名

運動療育型児童デイ クライムアップ桑津教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

1

月

17

日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ										
支援方針		運動療育をメインとして、お子さまの「今」だけでなく「未来」までを見据えた支援を行い、成長の可能性を最大限に引き出すことを目標としております。今後もより質の高い支援の提供に努め、保護者の皆様および関係機関と連携しながら、お子さまの健やかな成長を支えてまいります。										
営業時間		PM12 AM9	時	00	分から	PM18 PM15	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	心身ともに健康で安全な生活ができるように支援します。来所時に児童の健康状態の常なるチェックを行い、異常の早期発見・対応ができるようにしています。意思表示が困難な児童には障がい特性や発達特性を考慮し、顔色など小さなサインから心身の異変に気付けるようにきめ細かな観察を行う。衣服の着脱、食事や排泄等の基本的な生活リズムが身に付くことができるように支援していきます。さらに感染症等の病気の予防の配慮も行っています。										
	運動・感覚	当施設では、ボルダリング・跳び箱・マット運動などの設備を常設し、運動を通じた身体能力の向上を図るとともに、「挑戦する力」「成功体験の積み重ね」による自己肯定感の向上を目指しております。										
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を活かし、情報を適切に処理することや、危機管理能力が向上できるように支援します。「苦手なことにも挑戦する」課題に向かうことを支援します。スモールステップ法で自己肯定感が向上できるように支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちややりたいことを伝えるのは大切なことだと認識できるように支援していきます。その中で日常で適切な言葉選びができるように、活動内で各場面や相手側の状況別で適切な言葉・不適切な言葉を選ばせレクリエーションを設け、徐々に適切な言葉使いができるように支援しています。発語が難しい児童に対しては絵カード、マカトン法や簡単なジェスチャー等の非言語コミュニケーションを用いて自身のことを伝えられるように支援しています。										
	人間関係 社会性	人間関係が構築できるように、身近な人と親密な信頼関係を築いていき、それを基盤として周囲の人と安定した関係が築けるように支援を行います。支援員が介入し、一人遊びの状態から並行遊び、連合遊びへと移行できるように支援し、共同遊びへと移行できるようにその児童に合わせたペースで行い、社会性の発達を支援していきます。運動療育を通じて順番に並ぶ、待つ時間などの社会でのルールが理解できるように支援していきます。										
家族支援		保護者の皆様の負担軽減を目的とし、学校や園へのお迎えからご自宅への送迎を無料で実施しております。送迎サービスにより、通所に関するご家庭の負担を最小限に抑え、安心してサービスをご利用いただけるよう配慮しております。				移行支援		児童期の支援に留まらず、将来的な自立支援の観点から「生活介護」「就労継続支援」「グループホーム」などの事業も展開しております。これにより、お子さまが成長した後も、長期的な視点で適切な支援を受けられる環境を整備しております。				
地域支援・地域連携		利用者中心の支援を実現するため、国家資格や専門性を有する資格者との連携を図っております。各分野の専門機関との協力により、発達支援における最適な選択肢を提供し、お子さま一人ひとりのニーズに応じた柔軟な対応を行います。				職員の質の向上		職員の支援力向上や知識習得のため、障がい特性の研修や虐待防止研修、支援方法の研修を定期的に行い、新たな支援技術を取り入れています。				
主な行事等		スポーツ大会 サッカー大会 農業体験 作業所体験 遠足 季節に合わせた行事(お花見、夏祭り、クリスマス会、餅つき等)										